



『であい、ふれあい、そして未来へ』～自分を発揮し 求め続ける白川っ子の育成～

\$ 令和2年度 生活習慣アンケートより \$

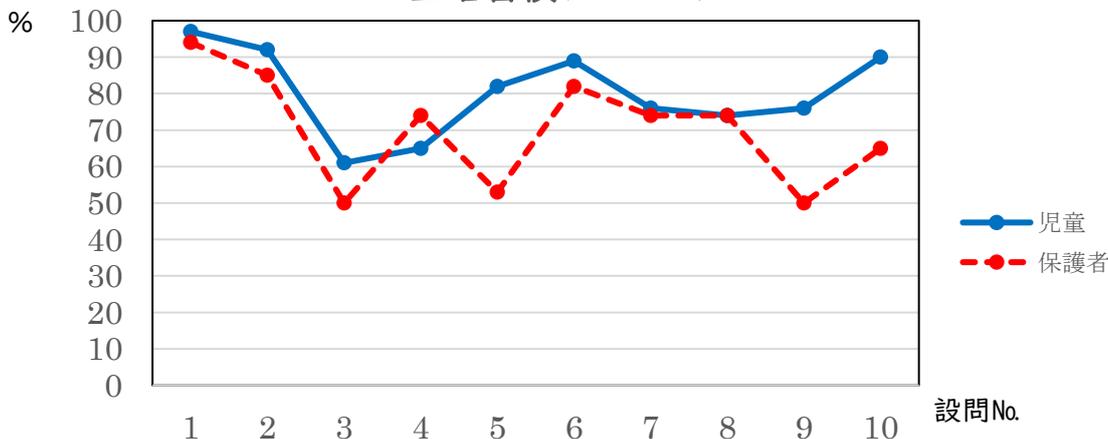
2学期の学校アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。各設問の結果及びご意見・ご指摘もふまえて検討しましたのでお知らせします。子どもたちが感じている面(グラフ:実線)保護者の方が感じている面(グラフ:破線)に相違があることが数字から見受けられます。今後、この結果をもとに学校と家庭、地域が協働して、教育実践に取り組んでまいりたいと思いますので、ご支援・ご理解・ご協力の程宜しくお願い致します。

No.	設問 (上段:児童向、下段:保護者向)	児童 (%)	保護者 (%)	令和元年度	
				児童	保護者
1	・楽しく学校生活を送っている。 ・楽しく学校生活を送っている。	97	94 ↑	97	91
2	・学校の勉強がよくわかる。 ・学校の勉強がよくわかっている。	92 ↓	85 ↑	97	72
3	・家で自分から進んで勉強している。 ・家で自分から進んで勉強している。	61 ↑	50 ↑	54	37
4	・自分の考えをもち、自分の思いを言える。 ・自分の考えをもち、自分の思いを言えている。	65 ↓	74 ↑	69	66
5	・自分で判断し何事も最後までやり抜こうとする。 ・自分で判断し何事も最後までやり抜こうとしている。	82 ↑	53 ↓	69	56
6	・人の話を真剣に聞くことができる。 ・人の話を真剣に聞くことができている。	89 ↑	82 ↑	77	59
7	・早寝早起きができる。 ・早寝早起きができている。	76 ↑	74 ↑	72	63
8	・朝夕の歯みがきができる。 ・朝夕の歯みがきができている。	74 ↓	74 ↓	92	78
9	・ゲームやテレビなど時間を守ってできる。 ・ゲームやテレビなど時間を守ってできている。	76 ↑	50	72	50
10	・おはようやありがとうのことばが言える。 ・おはようやありがとうのことばが言えている。	90 ↑	65 ↓	87	71

注記

○アンケートは4段階評価で行いました。
4:そう思う 3:だいたいそう思う 2:あまりそう思わない 1:そう思わない
※肯定的意見 ↓ 3と4の合計割合(%)
○児童と保護者の数値は、全体に対する肯定的意見の占有率(%)を表します。
○矢印(↑・↓)は、対象者別に前年との比較を表します。

生活習慣アンケート



課題 ▽今日、学習したことの復習(振りかえり)をしていますか? → 家庭学習の習慣化
▽自分で決めたことを最後までやり遂げられますか? → 見通し(計画)をたてる 継続は力なり

□学習面 → 来年度へ：**家庭学習の習慣化**

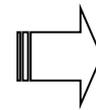
I 学校での学習について

本年度は感染症予防のため、本来の体験学習が実施出来ないことが多くありましたが、体験学習等において、地域の方々とともに学習することが子どもたちにとって有意義であり学習意欲向上のために効果的でもあると考えます。子どもたちが机上の学習だけでなく、参画体感できるような機会を大切に、地域の方々や働く人々と接する中で伝統文化（産業）や様々な仕事について学んでいきたいと考えます。安全の里・つくしの家・三重大学等との連携・協働を進め、子どもたちが体験学習から多くの「学び」を体得できる取り組みを推進していきたいと考えます。

II 家庭学習の充実と家庭の協力について

児童と保護者の回答を考察すると、家庭学習の習慣化をさせていく必要があると考えます。放課後に学校で宿題をすましていく児童もいますが、家庭へ帰ってから自主学習に取り組むことでより学習の定着が図られます。引き続き、学校でも宿題の出し方の工夫や内容等の検討を行っていきたく考えていますので、ご家庭におきましても子どもたちへの励ましの言葉がけ等ご協力を宜しく願います。家庭学習のポイントとしては、以下のような点を確認ください。また、読書活動についてもさらに、活発になるように働きかけていきます。

- 「いつ」するのか「どこ」ですのか決めましょう。
- 「宿題」は必ずしましょう。
- 「自主学習」は学力向上・定着につながっていきます。
- テレビ、ゲーム、携帯電話等の「メディア」とは上手な付き合い方を。
(時間や使い方の約束)
- 「明日の授業準備」を確かめましょう。



良い
学び場づくりを

□生活面 → 来年度へ：**基本的な生活習慣の定着**

I いじめのない楽しい学校づくりについて

学校生活については、児童・保護者ともに、概ね「楽しい」という回答を得ています。教科学習や体験学習を中心に据えて、子どもたちにとって有意義な取り組みを進めていきたいと考えます。また、連絡帳・対話等を活用してご家庭との連絡を密にしていきたいと考えておりますので、ご協力を宜しくお願い致します。本校のコーディネーター担当職員を中心にスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーや専門機関（子ども支援課や適応指導教室、通級指導教室等）と連携する相談窓口が整っていますので、保護者の方からもお気軽にご相談ください。

II 社会のルール(含交通安全)やマナーを身につけることについて

白川っ子タイムや始業式・終業式等の学校行事の場で、今できていないこと、できるようになったことを子どもたちに伝え、学校生活(基本的な生活習慣)の向上に活かしています。また、すみがく、道徳にも力を入れ、集団生活を有意義にすごせるよう自尊感情・自己肯定感向上に向けて取組を進めて参ります。特に、白川っ子タイムでは、子どもたち一人ひとりがスピーチをすることで、自分の考えをもち、自分の思いを言える場面を継続していきたいと考えます。行事に関わる縦割り班活動については、上級生を中心に取り組み、子どもたちの自主的な活動を大事にしながら、自治能力向上を図っています。長期休業前等には、交通安全・交通ルールについて事故を未然に防ぐ力をつけるように指導を行っていますが、同時に、ご家庭でも交通ルール等の交通ルールの遵守等ご指導を宜しく願います。

□その他 → 来年度へ：**学習環境の充実**

I 施設・設備について

本校も創立121年を今年迎えました。校舎各所に不具合が出てきていますが、不具合のある箇所は、教育委員会と連携して予算の範囲内で適宜修理・交換等を行っています。日々の安全点検と美化活動を充実させるとともに職員も学校美化に努力して参ります。

昨年度設置していただきましたエアコンについては、子どもたちの学習環境充実(猛暑・酷暑、寒さ)および感染症予防(換気)のため夏季・冬季に有効に使用しております。